



日本女子大学大学院 教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

（大学院全体）

専攻分野で高度な学術の理論を学び、精深な学識と研究能力を養うための演習・講義・特別研究を置く。

■家政学研究科

（修士課程）

- ・ 大学院での研究を進める上で必要な調査手法や統計処理を修得させるために、家政学研究科共通科目として「生活調査方法論」を置く。
- ・ 家政学の各分野でより高度な専門知識を修得するための講義科目を置く。
- ・ 総合的・実践的な家政学の研究方法を学ぶために、実験・実習・フィールドワークを行う科目を置く。
- ・ 個別指導により、本学学位規程に定められた基準の修士論文（修士制作を含む）を課す。

■文学研究科

（博士課程前期）

- ・ 人文学に関わるより高度な専門知識の修得のための講義科目を置く。
- ・ 課題の発見から解決のための方法を学ぶための演習科目を置く。
- ・ 各専攻の諸分野について専門的に学修を深めるための科目を置く。
- ・ 個別指導により、本学学位規程に定められた基準の修士論文を課す。

（博士課程後期）

- ・ 各専門分野の研究の集大成として、研究計画に基づいた指導のもとで、本学学位規程に定められた基準の博士論文を課す。

■人間生活学研究科

（博士課程後期）

- ・ 人間生活に関わる総合的・学際的研究のために、各分野の専門科目を置く。
- ・ 各専門分野の研究の集大成として、研究計画に基づいた指導のもとで、本学学位規程に定められた基準の博士論文を課す。

■人間社会研究科

（博士課程前期）

- ・ 理論と実践のバランスを考慮した講義科目と演習科目を置く。
- ・ より学際的な学修のため、他専攻科目の履修、他大学院の授業科目の聴講ができる制度を設ける。
- ・ 個別指導により、本学学位規程に定められた基準の修士論文を課す。

（博士課程後期）

- ・ 各専門分野の研究の集大成として、研究計画に基づいた指導のもとで、本学学位規程に定められた基準の博士論文を課す。

■理学研究科

（博士課程前期）

- ・ 各分野のより高度な専門知識を学ぶために講義科目・演習科目を置く。
- ・ 科学のより高度な研究方法を学ぶために実験・実習科目を置く。
- ・ 個別指導により、本学学位規程に定められた基準の修士論文を課す。

（博士課程後期）

- ・ 各専門分野の研究の集大成として、研究計画に基づいた指導のもとで、本学学位規程に定められた基準の博士論文を課す。

■建築デザイン研究科

(修士課程)

- 建築デザインに関する専門的知識習得、思考充実のための講義科目を開講する。
- 建築デザインに関する調査・分析の方法やデザイン手法を学ぶため研究科共通科目や各専門分野における演習科目（演習Ⅰ）を開講する。
- 建築デザインを計画・提案する能力を養うため、設計デザインに関する演習科目・実習科目を開講する。
- 建築デザインに係る研究を実践する能力、またデザインを計画・提案する能力を養うため、修士論文・修士制作関連の演習科目（演習Ⅱ）を開講する。